

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 足利西高校体育館兼講堂新築工事地質調査 孔番 No. 2 地盤高 -0.509m m

調査場所 足利市大前103 (基準面KBM+-0.00m)

地 形 摘要

調査期間 昭和60年 7 月 日 ~ 月 日

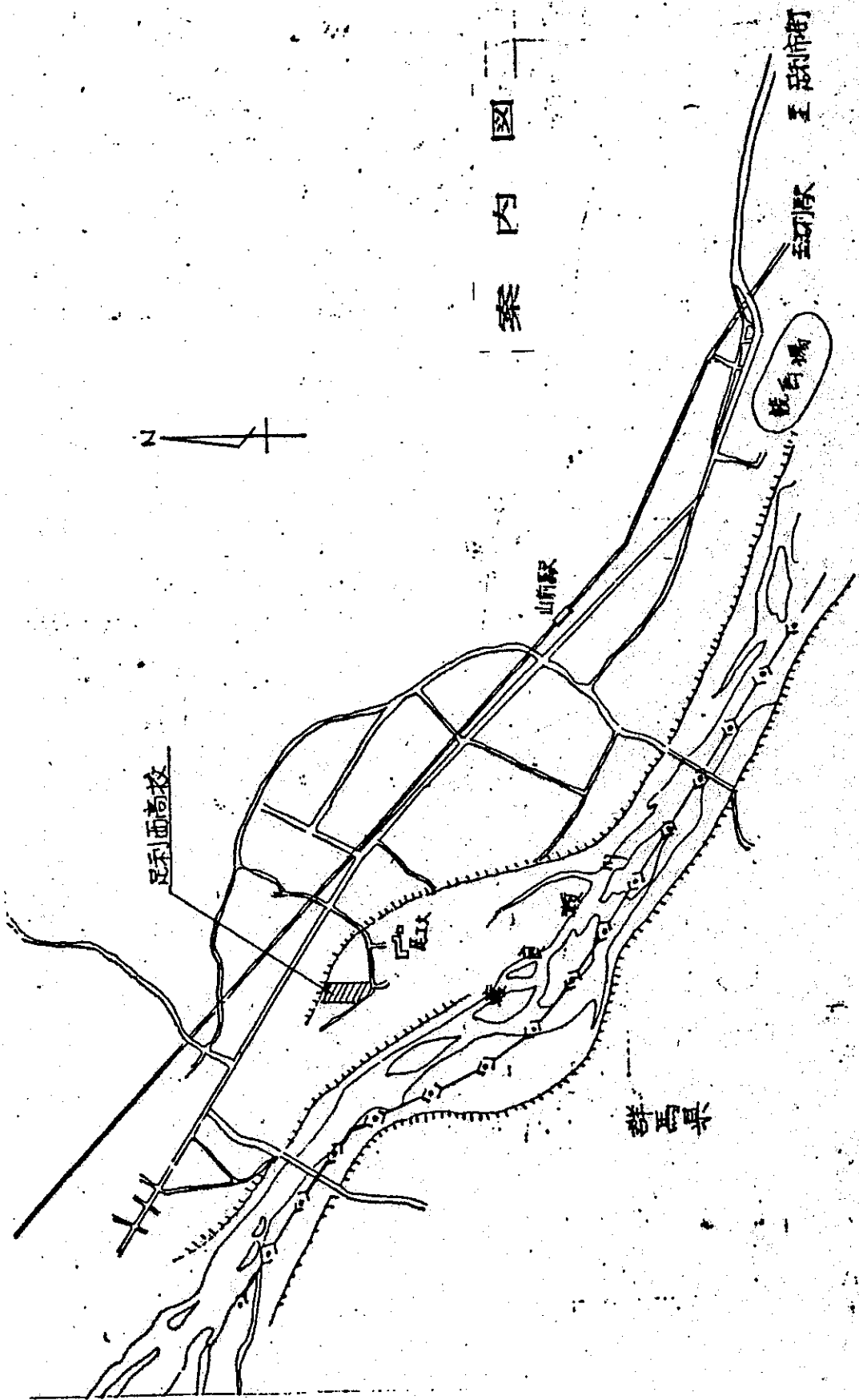
地下(孔内)水位 GL-2.50m

調査担当者

標地下 水位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	資料		打撃 回数 10cm毎	原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数							
					色調	相対密度		番号	記号			0	10	20	30	40	50	60	70
	0.70	0.70	//	盛土			玉石、礫混る。	2											
	1.30	0.60	○	礫混りシルト	青灰		礫混入多い所あり			1/12/18	2/1.15/5								
	2.30	1.00	●	ローム質 中砂・粗砂	灰青		小礫混る。 大礫φ50~70mm介入			2/15/11	2/2.15/2								
	2.60	0.30	●	中砂・粗砂	茶褐		小礫混る。				2/2.51/8								
			○				礫φ5~40mm主体 砂分多く混る所狭 む、含水あり。 3.8m附近に玉石点 在、4m附近より締る 大礫80~100mm混る 含水多量。			3/15/11	3/2.15/10								
			○	砂 礫	青灰		φ50mm内の礫多く 大礫φ80~100mm 位混る。所により 砂分多い。			4/20/30	4/4.15/30								
			○							5/23/15	5/3.15/19								
			○							27/23/16	6/6.15/50								
	7.45		○							18/13/16	7/7.15/17								

支持地盤
→ 2.8m
20t/m²

案内図



地質調査位置図

1/500

